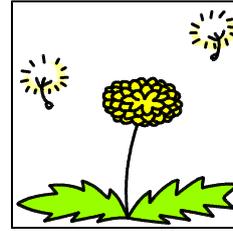


花いっぱい



伊東市立
宇佐美中学校

第1学年 NO.3

令和2年4月27日

2週間振り2度目の学校

22日、各クラスを3つに分けて時差登校を実施しました。学校で会うのは入学式以来2回目でしたが、生徒の顔を見ることができてほっとしました。新型コロナウイルス感染症防止対策として、クラスごとに使用階段を分ける、間隔を空けて着席するといった環境の中で表情に硬さは見られなかったものの、元気な声であいさつをしたり、きちんとした言葉遣いで話したりする生徒の様子が見られました。また、全開にした窓から風が吹き込み、プリント等が舞う場面もありました。その際も生徒はすぐにプリントを拾うなど、考えて行動する姿があり、その気遣いに嬉しくなりました。

まず、宇中ノートや復習ノートの点検をし、次に、おたよりや新しい課題の配布をしました。1日1ページやることになっていた復習ノートからは、生徒たちが自分なりに考え学習に取り組んでいた様子が見えました。内容も充実している生徒も多かったです。本来ならば今回の登校日までで15ページとなりますが、中には「もうノート2冊終わりました」というような生徒もいました。一方、学習の進め方がまだつかめず、漢字やアルファベットを書くだけの練習にとどまっている生徒も見受けられました。今回の課題の説明や各担任からのアドバイスをもとに、今後の学習に取り組んでほしいと思います。

また、この時間の最後には『生徒のみなさんと心を一つにしたいこと』という全校配布のおたよりをもとに、各担任が次の3つの話をしました。1つ目は『感染を防ぐための行動』、2つ目は『根拠のない噂や情報に流されないこと』、3つ目は『差別的な言動に同調しないこと』です。残念ながらこれらの話をした翌日に、集団で遊んでいる生徒を見かけたという話を地域巡回をした職員から聞きました。生徒が持ち帰ったおたよりをご家庭でもお読みいただき、休校の意味についてももう一度考えていただけたらと思います。



ありがとうございました



お忙しい中、宇中ノートの『1週間を振り返って』の家の人からの欄への記入をありがとうございました。「今日は〇〇を学習しました…/〇〇という料理を作りました…」などの生徒の振り返りや、保護者の方の記述から、生活の様子を知ることができました。

また、生活の様子だけでなく、お家の方の思い、現在抱えている不安や心配なども知ることができました。30分という短い時間でしたので、コメントを付けて返すことができず大変心苦しく思っています。職員で共有し、今後それらのものを少しでも取り除いていけるよう努めてまいります。

おねがい

入学説明会で配布した『宇佐美中のきまり』の再度確認を！

今回の登校では、制服の胸ポケットに『ネームプレート』が付いていない、左腕に『交通腕章』が付いていない（もしくは縫い付けていない※安全ピンで留めるのは不可）生徒がいました。学校再開日には、全員がきちんとした身なりで登校できるよう、この休校期間中に再度確認をし、対応していただけるようお願い申し上げます。

また、スカートの丈、携帯電話の持ち込みに対して指導することがありました。入学式翌日以降休校となった状況の中ではありますが、生徒はもう『宇佐美中の一員』です。生徒全員が気持ちよく安心して生活するには、全員がきまりを守る必要不可欠となります。朝出かける前に①体調はどうか、②正しい身なりをしているか、③不要物を持っていないかの声かけをご家庭でもお願いいたします。

各クラスの担任より



1組 岸 宗之

元気に過ごしているでしょうか。先日の分散登校では、みなさん一人一人の表情を見ることができ、とても安心しました。互いに笑顔でまた会える日を楽しみにしています。

さて、自分は物事に対して飽きやすい方だと思う人はいますか。人間は飽きたり、忘れたりするものです。どんな流行もずっとは続きませんよね。きっと休校期間に入り、何かしようと思って行動に移したものの長続きしない…ということはありませんか。(先生は庭の手入れです。)そこで、アドバイスを2つ送ります。最後に、「みなさんとこんなことをしたいな。」「こんな授業をしたいな。」と色々なことを考え、様々な準備を進めています。きっと1年生のみなさんも同じでしょう。互いによい準備をするために、できないことばかりでなく、できることに目を向けましょう。

- ① 1日の始まりに今日は何をするのか書き出すこと。このとき、一気にすべてやろうとするのではなく、ちょっとずつ進めることが大切です。つまり「小さな目標」を立てて、「できたっ!」という実感をもてるようにしてみよう。
- ② 飽き始めたときには、何か違うことを挟んでリフレッシュする。例えば、「社会の学習を連続して数時間やろう!」というのはさすがに先生でも飽きてきます。間に英語の学習を挟むなどして1つのことに取り組む時間を「自分が集中できる最低限の時間に設定する。」ことで、また取り組むときには集中力や楽しさが戻ってきます。

2組 前島 悠汰

1年2組の皆さん、いかがお過ごしでしょうか。私は先週の登校日の時、久しぶりにみなさんと会うことができ、とてもほっとした気持ちでいっぱいになりました。また、運動不足のせいもあって、4階まで上がっただけで息が切れてしまう身体になっていることに気付かされ、悲しい気持ちにもなりました。個人的には、在りし日の身体を取り戻すべく、YOUTUBEで「自宅 筋トレ」と検索して、日々トレーニングに励んでいます。

私は、学校が再開できたとき、みなさんが充実した学校生活を送ることができるように、授業やクラスの準備に全力で取り組んでいます。「こんなものがあれば過ごしやすくだろうな」、「これを使えばより分かりやすく理科を教えることができそうだな」など、みなさんの姿を想像しながら仕事をしています。みなさんは、余りある時間を有効に使えているでしょうか。休校期間は延長されていますが、いつか必ず学校は再開します。ただ、思うがままに生活することなく、「自分の可能性を広げるチャンスの時」と思って、残りの期間を過ごしてもらいたいです。学校が再開し、みなさんと過ごす日常を心待ちにしています。